

平成25年度「医療放射線管理講習会」の開催

主催：医療放射線防護連絡協議会

後援：厚生労働省

この講習会は、医療領域における放射線安全・防護を関係者に正しく理解・認識してもらい、放射線診療が適正に安心して運用することを目的に開催いたします。

国民の放射線・放射能に関する関心は高く、先般の東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故から、既に2年半が経過しても放射線・放射能への不安は強く、医療分野でも多くの放射線・放射性物質を利用して診療を行っています。今回は、医療分野の放射線安全に関して「いまこそ医療安全！」をテーマに、医療の現場で放射線安全に係る方を対象に放射線安全管理講習会を開催します。

また、日常の医療放射線安全管理のQ&Aについて、総合討論で医療現場での問題解決に向け、講師と参加者と一緒に考え、具体的な対応などを議論します。

日頃、医療の放射線安全管理に係っている方々の多数のご参加をお待ちしています。なお、講習会を受講された方には終了証を発行します。

◆開催場所と日時：

○東京会場（第55回） 平成25年10月18日（金）10:00～16:15

首都大学東京 荒川キャンパス内講堂 東京都荒川区東尾久7-2-10

日暮里・舎人ライナー「熊野前」駅下車徒歩3分、都電荒川線「熊野前」駅下車徒歩3分、

田端駅から都営バス端44系統「北千住駅行」に乗車、「首都大荒川キャンパス前」下車徒歩0分

○京都会場（第56回） 平成25年10月27日（日）10:00～16:15

島津製作所本社・研修センター 京都市中京区西ノ京桑原町1

地下鉄東西線：西大路御池駅より徒歩3分、阪急京都線：西院駅より徒歩10分

◆プログラム

開催の挨拶：10:00 佐々木 康人（医療放射線防護連絡協議会 会長）

第1部 10:05～11:55 教育講演（講演時間：45分）

演題1 医療安全から見た放射線安全

講演者：東京会場；「*弁護士の立場から*」

關本 喜文（せきもと法律事務所）

京都会場；「医療安全 ～放射線との連携～」

長尾 能雅（名古屋大学医学部）

演題2 放射線障害防止法関係の最近の動向—原子力規制委員会への業務移管 ほかー

講演者：南山 力生

(原子力規制委員会 原子力規制庁放射線対策・保障措置課 放射線規制室長)

(昼食・休憩 11:55~13:00)

第2部 医療現場の放射線安全 (13:00~15:00)

(講演時間：各25分)

1. 医療施設の放射線立入検査ポイント

東京会場 「東京都における放射線施設の立入検査」

川崎裕美子 (東京都福祉健康局医療安全課)

京都会場 「放射線安全に関する事例の紹介」

山口 一郎 (国立保健医療科学院)

2. 医療現場の放射線管理*当病院を中心に*

東京会場 「自治医科大学附属病院の放射線管理」

出井 充 (自治医大病院 放射線管理室)

京都会場 「当院を中心として」

本多恵理子 (滋賀医大病院 放射線部)

3. 医療施設の放射性廃棄物

東京会場 阿部 修 (日本アイソトープ協会環境整備部長)

京都会場 木村 昇 (日本アイソトープ協会環境整備部)

4. 医療放射線管理マニュアル2012版の活用術*福島原発事故から学ぶこと*

菊地 透 (自治医科大学)

(休憩：10分)

第3部 総合討論：「日頃の疑問をみんなで解決しよう！」 (15:10~16:10)

座長：東京会場 栗井 一夫 (榊原記念病院)

指定発言：保健師の立場から原発事故に伴う放射線防護文化

大森 純子 (聖路加看護大学)

京都会場 大野 和子 (京都医療科学大学)

閉会の挨拶：菊地 透 (医療放射線防護連絡協議会総務理事)

◆受講料：8,000円 (テキスト：「講演要旨」+マニュアル2012)

◆申込方法：FAX. またはEメールでお申し込みください。

◆申込先：医療放射線防護連絡協議会

〒113-8941 東京都文京区本駒込 2-28-45

日本アイソトープ協会内

Fax：(03)5978-6434 電話：(03)5978-6433 (月・水・金)

E-mail：jarpm@chive.ocn.ne.jp